令和2年度

第26回 児童生徒地図作品展

入賞15作品　画像

岐阜県知事賞　岐阜大学教育学部附属小中学校2年佐藤由理花さん

岐阜県教育長賞　岐阜大学教育学部附属小中学校6年　加藤　僚一さん

岐南町立北小学校4年　加藤　嘉人さん

岐南町立北小学校1年　加藤　剛士さん

国土地理院長賞

岐阜大学教育学部附属小中学校5年

松永　彩花　さん

日本地図センター理事長賞　岐阜市立長良小学校　4年・4年・3年

亀山　明日香さん　・　亀山　和香那さん　・　亀山　智央さん

日本地理学会会長賞

岐阜市立合渡小学校3年

坂　伊央里　さん

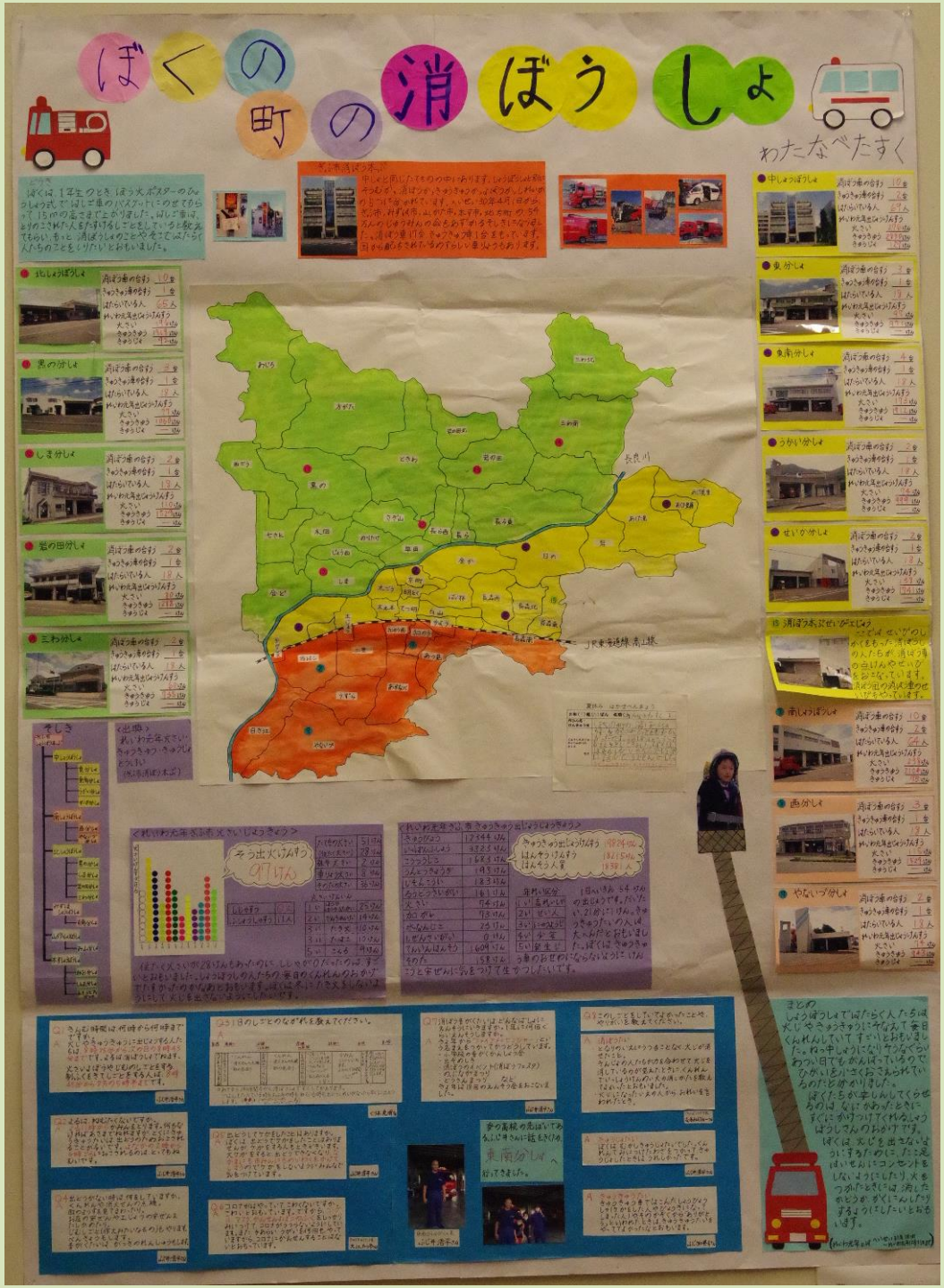
岐阜地理学会会長賞　岐阜大学教育学部附属小中学校7年

澤　可奈子　さん

岐阜県図書館長賞

羽島市立竹鼻小学校3年・1年

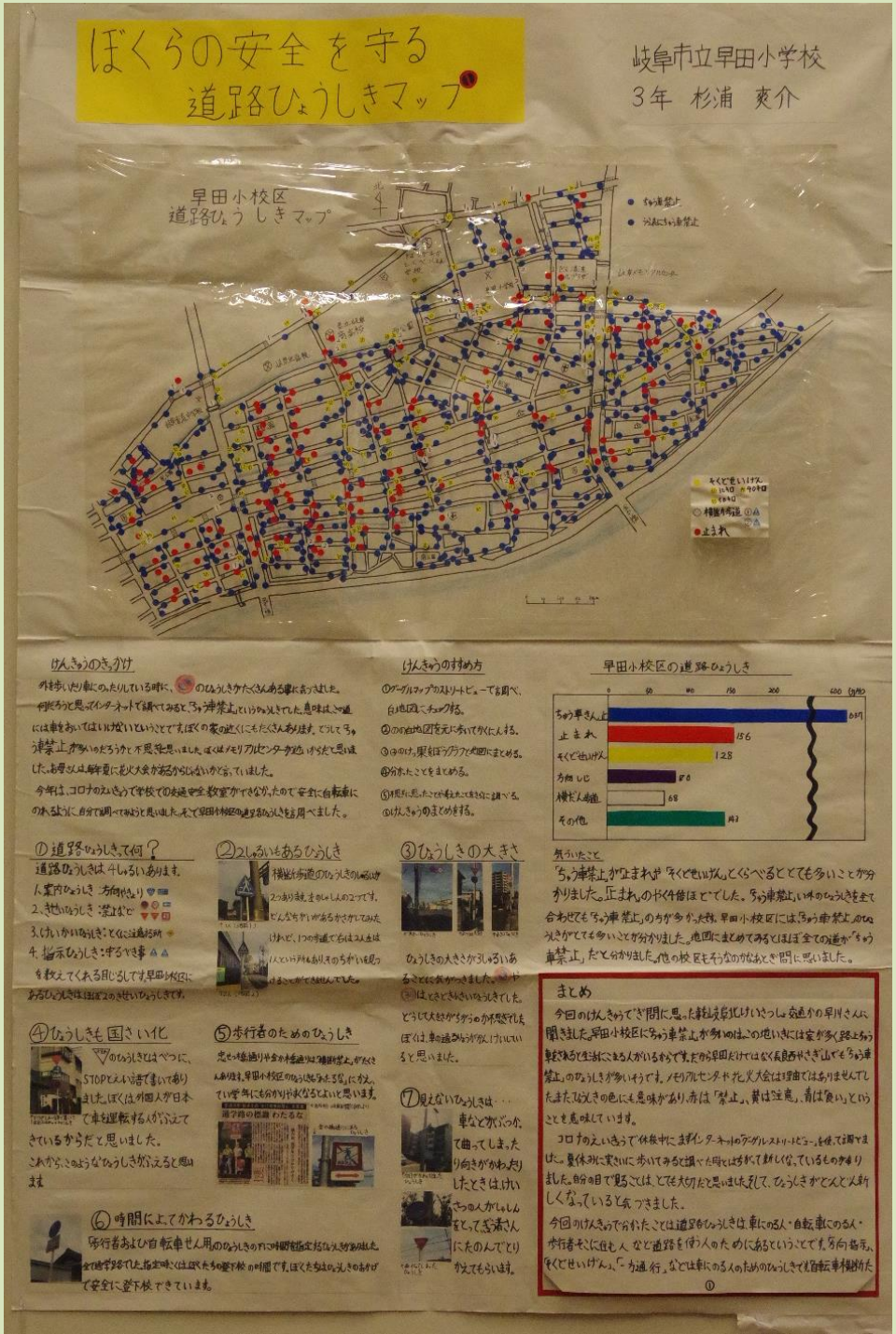
淺野 智恵 さん
淺野 智博 さん



奨励賞

岐阜大学教育学部附属小中学校2年

渡邉 丞 さん



奨励賞

岐阜市立早田小学校3年

杉浦　爽介　さん

奨励賞　関ケ原町立関ケ原小学校3年　吉田　翔哉　さん

奨励賞　岐阜市立長良小学校4年　森　太一　さん

奨励賞

大垣市立江東小学校5年

小林　樹季　さん

奨励賞　岐阜大学教育学部附属小中学校7年　中島　健翔さん

奨励賞　岐阜県立岐阜高等学校2年　谷　奏良美さん

美濃加茂市の土地利用の変化について

岐阜高校　2年6組　谷　奏良美

美濃加茂市山之上町の位置

1.はじめに

私の住んでいる美濃加茂市山之上町は、今では、梨が有名となり、夏から秋の土日には、多くの人が梨を買いに来ています。しかし、梨づくりとは、いつから盛んに行われるようになったのか、なぜ山之上町で盛んに行われているのかを知りなかったので、そのことを調べたいと思い、今回の調査テーマとしました。

2. 山之上果樹園発展について

山之上果樹園を代表とする上野部落（明治時代は「上野ヶ原」と呼ばれていた。）は、海抜1千メートルの第三紀層地帯で、背丈ほどの松が一面に生える赤色土質のやせた土地だったそうです。

明治中期に、この土地を農業面において利用しようと開田を試みたそうですが、失敗してしまったそうです。（この人は、八百津町から上野に移住してみえた方だそうです。）

大正10年（1921年）ごろ、可児郡今渡の横井光次郎が本地区有林を開墾して、柿、梅、栗、桐などを植付け、経営を始めたそうですが不成功と終わり引き上げたそうです。

大正12年（1923年）、寺尾香の山田仲二郎が4.5反の開田に成功したそうです。

大正末期の疎開や軍の義務も計画されたそうですが失敗したそうです。

【二人の開拓者　佐口佐太郎氏・渡辺義雄氏について】

① 佐口氏は、上野台地近くの佐口という集落に農家の次男として生まれました。加茂農林学校の1回生として入学しましたが、当時の学校の月謝が50銭ということから、やむなく退学しました。また、25歳の時に火事にあい、第一物となってしまいました。

そんなや、何とかしなければと考えていたある日、自分が小さい頃に上野台地にかき柿を植えていたのを思い出し、村人がみむきもしない土地の開墾をはじめました。

眼識に富っていましたが、大正14年の夏の日照りで苗がほとんど残らず枯れてしまいました。これに懲せず、少々の日照りでも枯れないような果樹園にしていきました。しかし、実がなって売れるまで苦しい生活が続きました。昭和3年に入ると、佐口氏の柿の木はみごとな実をつけました。この成功により、佐口氏の他に開墾をしていた2～3人ほどの人々も勇気づけられ、他の人の中にも開墾に手を出そうという考えがうまれてきました。

ところで、当時の農村の生活は苦しく、果としても自作農創設資金や農山村経済復興資金を貸付をし、農山村の復興に力を入れていました。

昭和5年になると、さしもの上野ヶ原の台地にも柿の木がぱらぱらと目立つようになり、思いがけない買い手もつきました。この年は本業柿の柿が晩霜の被害を受けて、収穫をあげることができなくなってしまった。だからです。このとき、佐口氏の熱心な働き者である石原氏が、山之上は気流などの関係から霜の害をまぬがれている山之上の柿を紹介しました。美濃町の柿買いが佐口氏のところへやってきて、柿を50円で買っていってくれました。これは、佐口氏が農工銀行で借りていた金額でした。

② 渡辺氏は、明治32年に加茂郡古井町（現在は美濃加茂市古井町）に生まれ、明治44年に加茂農林に、明治45年4月に入学しました。大正13～14年ごろに米の値が大きく崩れだしたので、農業で食べていくことはできなくなっていくと、考えました。ちょうどそのころ山之上で土地を「町」に借りて柿を作っている人を見て、これから次の時代で食べていくことができるかもしれないと考えました。そして、父親をなんとか説得して、山之上に果樹園を作ることになりました。しかし、この山之上台地はほとんど山之上村の所有地であったため、なかなか土地の話し合がつきませんでした。渡辺さんは、大正15年に山之上村に土地を借りたいと申し出たが、様々な問題があってなかなか村議会を通過しませんでした。昭和2年になってやっと土地使用の許可がおりました。昭和3年の終りから作業に入り、開墾したあとは畑地として、少しずつ柿やぶどうの苗を植えていきました。植樹って不毛の地を開墾し、柿やぶどうの苗を植え、やっとのことで実がなるというときに大きな問題が生じてきました。ぶどうの木に、木の根と葉を枯らしてしまう害虫がついたそうです。特に山之上の桂太賀の土地に発生しやすいそうです。ぶどうを植えて5～6年経っていたがどうしようもないと考えて梨の苗を植えることにしました。その後は梨や柿を出荷していきました。

【開墾後】

このような開墾の成功により、山之上台地も有名になり、愛知県、本巣郡、加茂郡、益田郡あたりの人々の中から、上野の土地を買ってほしいと申し出てくる人が増えてきました。これに、呼応して村当局も耕地整理組合を結成し、昭和7年までには、11.9町の耕地整理を完了し、広く入植者を募集しました。昭和10年には上野に64戸（村内出身者34戸、入植者30戸）の果樹園農家となり、昭和11年ごろから柿、ぶどう、梨などの収穫が始まりました。またこのころから、梨（20世紀）が栽培されだし、昭和17年ごろから出荷が始まりました。1940年ごろぶどうの値段が最高して、ぶどうから梨への転換がなされ始められました。

戦時は試験場の設置のために著しく妨害しました。その為、転職する人が続出したようで、村内出身者の場合でも、1939年には、35戸あったのが、9戸残ったようでしかなりませんでした。しかし、この時期には、岐阜や名古屋方面からの疎開が果樹園や農地を購入して経営をはじめました。また、大阪府においても引地からの引き揚げ者および復興者なども入植してきていました。

戦後、果樹園の経営者も次第に増え、昭和23年には、山之上農業協同組合という農業団体を専門に扱う珍しい組合が誕生しました。

昭和37年に農地は222名（農業40、兼業182）となっています。

入植状況は、表1「上野集落果樹園経営者の出身地と年の住年次」によってわかります。これによると、名古屋や岐阜といった都市出身者が多いことが分かります。これは、開墾地の果樹園の特徴ともいえます。これらの都市出身者は、戦時中から戦後に かけての人口移動が多く、その復興ちの為で果樹園を売却して都市に帰る傾向がありました。山之上を離れる人の多くは、果樹園を共に農家まで売却していきました。今では6反未満の零細農家でした。これらの果樹園は山之上町が購入していました。

	戸数	大正	昭和1～5	昭和6～10	昭和11～15	昭和16～20	昭和21～25	昭和26～30
美濃加茂市内	4		1	1			2	
山之上	16	1	3	5			6	1
蜂屋	1			1				
加茂郡	1			1				
本巣郡	2			2				
岐阜市	7		3			3	1	
愛知郡(名古屋)	13			4	1	2	4	2
恵那郡	1						1	
長光郡	1				1			
不破郡	1				1			
可児郡	1							1
土岐郡	1		1					
各務原市	14					10	3	1
その他郡市	6			1	1	3		1
三重県	2						2	
長野県	1					1		
東京都内	1						1	
山形県	1					1		
埼玉県	1							1
富山県	1							1
栃木県	1		1					
兵庫県	1							
北海道	1						1	

表1「上野集落果樹園経営者の出身地とその来住年次」
出陣地における新しい果樹園集落地域(写真5)(昭和50年)より

果樹名	農家数	作付面積(ha)
柿	152	46.7008
梨	107	30.3388
桃	80	5.2413
ぶどう	14	6.0181
栗	14	1.9140
りんご	1	0.2825
梅	1	0.0491
合計	369	90.9991

表2 果樹園作付面積(昭和50年)(単位 ha)

種別	面積(ha)	備考
柿	60	富有 55、松本 3.5、甘 1、堂上蜂屋 1
梨	42	幸水 15、新世紀 9、中生 5、八雲 25、豊水 3、和梨 3
ぶどう	6	デラ 3.230ha、ベリ A 1.5、その他 1.5
その他	6	桃、栗、柿、りんご、梅 合計 2
合計	114	

表3 果樹園作付面積(昭和50年10月)

	昭和52年	昭和53年	昭和54年	昭和57年
柿 出荷量	1994t	2495t	663t	570t
柿 出荷額	517.3百万	1,280百万	5,095百万	11,282百万
梨 出荷量	2495t	2414t	2570t	2074t
梨 出荷額	1,397.2百万	1,127.3百万	2,952.7百万	4,670百万
桃 出荷量	33t	31t	45t	31t
桃 出荷額	11.7百万	11.4百万	24.9百万	65.8百万
ぶどう 出荷量	20t	6t	—	—
ぶどう 出荷額	9.7百万	2.6百万	—	—

表4 山之上果樹園産業の概略(果樹農協より)

種別	販売数量(t)	販売金額(百万円)	主な出荷先
柿	5.20	11,300	東京、高山
梨	2.10	4,700	名古屋、岐阜、高山、多治見
その他	1.0	300	高山、多治見
合計	8.00	16,300	

表5 年間総合販売高(昭和52年度)

表3、5、6は山之上果樹農業協同組合が昭和52年に出した「山之上果樹園」によります。

年度(西暦)	人口(人)	総生産額(円)
43年	43,913	15,309,117
44年	64,037	22,413,566
45年	67,632	26,880,144
46年	70,129	28,650,633
47年	74,500	34,287,063
48年	84,862	42,736,982
49年	83,283	35,373,837
50年	72,541	55,093,722
51年	56,545	46,330,137
52年	60,026	56,412,800

表6 総人口と総生産額(昭和43年～昭和52年)

表1と2を比べると、昭和40年から昭和52年に果樹園がとても増えたことがわかります。昭和40年は合計9ha だったのが、114ha になっています。特に、中心となっている、柿や梨の面積がとても増えました。

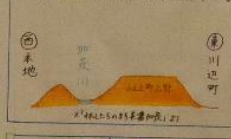
表4と表5を比べると梨や柿の出荷量は増えています。柿が岐阜や名古屋にあまり出荷されていないのは、本果郡などから出荷されているからだそうです。ぶどうの出荷量は減りましたが、山どうは出荷よりもぶどう狩りをしたり、現地で売る方が多いようです。

また、表6から観光の面でも発展してきたことがわかります。毎年、梨狩りやぶどう狩りにきている人もいるようです。

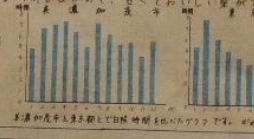
3. 山之上の地形や気候、工夫について

【地形・気候について】

山之上町は、古井や蜂屋よりも土地が高くなっているため、日当たりがよく風通しがよいので、梨が育つのにぴったり合っています。そして、美濃加茂市では、実が育つ時期（4月～9月）に太陽が出ている時間が長いので、甘くておいしい梨ができます。



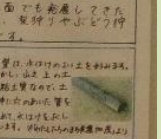
※「岐阜県の自然」より



美濃加茂市と美濃郡の日照時間をくらべたグラフです。※「岐阜県の自然」より

【本の紹介について】

山之上の梨畑には「スプリンクラー」があります。本管川石海岸水から水をくみ上げています。畑に畑は、土質なので土の中にたくさんの石がたくさんあります。



梨は、水はけのよい土を好みます。畑は土質なので土の中にたくさんの石があります。

※「山之上のようす」美濃加茂市より

4. 農家さんへの質問

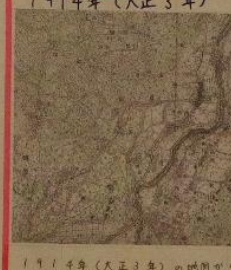
質問〉：梨棚に使用している支柱は「コンクリート」が多いのでしょうか？また、多くは、斜めに立ててあるのはなぜでしょうか？

答え〉：梨の枝を支えるために、全体に針金を通します。支柱を丈夫にしなくてはいけない為、コンクリートで内側に倒れないように、外側斜めにしています。

※「山之上のようす」美濃加茂市より

5. 土地の変化を地図で確認しよう！

1914年（大正3年）



1914年（大正3年）の地図からは、まだ開墾が進んでいないことがわかります。実際に上野の辺りを見やりると、梨畑や柿畑が多いことがわかります。

1960年（昭和35年）

1960年（昭和35年）の地図を見ると、佐口氏や渡辺氏の開墾のおかげで、上野の辺りにとても果樹園が増えたことが分かります。また、教科の地図ですが、果樹園が続いていることがわかります。

2010年（平成22年）

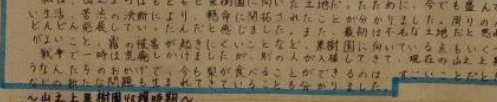
2010年（平成22年）の地図を見ると、上野地区だけでなく山之上町全体に果樹園が増えてきたことがわかります。

6. まとめ

私は、山之上町はもともと果樹園に向いた土地だ。ためにに、今でも盛んであると思っていましたが、実際は、古時の人々の苦しい生活、苦労の決断により、勢奇に開拓されたことが分かりました。周りの人や遠くから来た人が頑張づけられて、果樹園を増やしたんだんと発展していったんだと感じました。また、最初は不毛な土地だと思われていた土地でしたが、風通しがよいこと、日当たりがいいこと、霜の被害が起きにくいことなど、果樹園に向いている点もいくつかあったんだと思いました。

戦争で一時は荒廃しかけましたが、別の人が入植してきて、現在の山之上果樹園があるというのは、初めて知りましたが、そのような人たちの力のおかげで、今も梨が食べることができるのは、すごいことだと思いました。また、都市へ帰る人や農家さんの高齢化の問題などもまとめてきていることも分かりました。

～山之上果樹園収穫時期～



※「フルーツ王国」より

参考文献

協力してくださった機関

奨励賞　**岐阜県立岐阜聾学校5年**　**中村　咲月さん**